



# 九条の会・いすみ市

会報 第6号  
発行日 : 2016年6月19日  
発行 : 九条の会・いすみ市  
運営委員会

安倍首相は 国民の この声、願いに 背を向けている！

**全世界に発信すべきは 核廃絶と 戦争の無い世界の**

**実現にむけ 努力する姿勢！！**

いよいよ参議院選挙  
憲法守る！が争点

かつて 日本は、帝国憲法の下で 国民は自由にものが言えず、政府は侵略戦争へとつき進んでいきました。太平洋戦争では、2000万人のアジア諸国民と300万人の日本人の犠牲者を出し終結しました。こうした苦しみと反省から 日本国民は現憲法＝平和憲法を心から歓迎し、守り続けてきました。しかし戦後わずか5年後の朝鮮戦争から 日米軍事同盟＝地位協定 の改変を繰り返し、実質的な憲法違反が行われてきました。更に湾岸戦争を機に憲法改悪の動きが顕著になりました。こうした危険な状況の中で、2004年に9人の著名人の呼びかけ人による “九条の会”が結成されました。その運動は燎原の火のごとく全国に広がり、こんにち 各地方、様々な団体で、7000人を超える “九条の会”が結成されています。 私たち、九条の会・いすみ市は2015年1月24日に結成されました。皆さんも ご存知のとおり、安倍政権は一昨年(2014年)の7月「集団的自衛権行使容認」を閣議決定し、昨年(2015年)9月には 安保関連法案＝戦争法 を強行採決しました。圧倒的多数の国民の声、願いを無視し、歴代の首相も踏み越えなかった戦後最悪の憲法違反の法律制定の暴挙に対し、国民の怒りは国会包囲という形で連日抗議デモが行われ マスコミにも大きく取り上げられました。又 安保関連法の廃止を求める 全国2000万人署名が取り組まれて、既に1200万人の署名を国会に提出しています。市民と統一した活動は広がっています。

7月に行われる参議院選挙は 戦争法の廃止と明文改憲を許すかどうか、集団的自衛権行使容認の閣議決定の前までに戻すことが出来るかどうか が 重要な課題となっています。野党は一緒にがんばれの声に押されて 32の全一人区で野党候補が生まれ、現実的に安倍政権の暴走を止める力が見えてきました。 ひとりひとりの平和への願いを一票に示すことが大切です。今年5月に行われた、伊勢志摩G7サミットのオバマ大統領の広島訪問は核兵器廃絶を願う被爆者をはじめとする多くの国民が歓迎したと報道されました。戦後 毎年行われてきた、広島、長崎の原水爆禁止世界大会や国際署名など 不断のたたかひの結果がなしたと言えますし、これは あくまでも核廃絶への第一歩を踏み出せたとの思いからです。しかし、こともあろうに 安倍首相はこの声、願いに背を向け、アメリカとの軍事同盟強化を進めると発言しました。日米会談では沖縄の女性の被害の解決策が基地削減ではなく基地の増強であることの確認がされたとは驚くべきことです。世界唯一の被爆国であり、世界に誇れる平和憲法をもつ 日本が全世界に発信すべきは 核廃絶はもちろんのこと 戦争の無い世界の実現にむけ 努力するという姿勢を示すことではないでしょうか。

阪倉 芳枝

## コラム 世界の軍事力・軍事費

(スイス金融機関 クレディ・スイスレポート)  
**軍事費ランキング** 知っていますか？  
スイスの金融機関であるクレディ・スイスが世界の軍事力に関するレポートを発表しています。  
1. アメリカ、2. ロシア、3. 中国、4. 日本、5. インド、6. フランス、7. 韓国、8. イタリア、9. イギリス、10. トルコ、

(ストックホルム 国際平和研究所)  
現在の日本の  
**軍事力ランキングは世界4位**  
**軍事費ランキングは8位** とされています。

脅威に煽られての軍事力競争では 際限のない軍事力拡大競争となり軍事費も際限なくなります。軍事費はすべて国民の税金です。これだけの軍事費があれば どれだけ社会保障費に廻せるでしょう。

これまでこの会が集めた 署名総数は **721名分** です

もうあなたは署名しましたか？

**戦争法の廃止を求める 2000万人統一署名**

子ども・若者、世界の人びとの命のために

**2000万人署名 継続中**  
6/30まで

5月19日の提出以降に集まった署名は 参院選後の臨時国会に提出しますので 重ねてのご奮闘をお願いします。(総がかり行動)

**戦争法の廃止を求める 2000万人統一署名**は 全国のみなさんのご努力で署名者はすでに **1200万人**を超えて国会に提出されました

朝日新聞 (5月3日付け)  
**主権者はわたしたち 安倍政権にNO**

この市民広告の主旨に賛同し九条の会・いすみ市では広告の掲載に参加しました

今 学習会で取り組んでいる内容は、**現行憲法と 自民党憲法改正草案の比較を通して、現在の憲法の 何を どの ように 変えようとしているのか？**

疑問？質問！・デスクッション等

**憲法学習会に参加して**

則子

昨年9月に強硬採決された「戦争法」は、憲法違反の法律です。安倍政権はその上憲法そのものを変えようとしています。

今回の学習会では、現行の憲法と自民党の「憲法改正草案」とを読み比べながら、どこをどう変えようとしているのかを話し合いました。

多くの人の命を犠牲にして獲得した現憲法の平和主義・第9条の戦争の放棄を、他国の脅威をあおり「国防軍」を持つ国に変えようとしています。また「和」「家族」等の言葉をもてあそび、個人の権利を抑え平和主義を否定し、戦争をする国づくりに突き進む危険な流れを感じました。

武器輸出三原則が取り払われ軍需産業が大きく成長している。福島原発事故の終息も今だ遠く、避難を余儀なくしている人がいる中、原発が輸出され日本が大きく危険な方向へ変わろうとしています。憲法を守り、心豊かに平和で暮らせるよう力を合わせましょう。

継続的に学習会をしています。どうぞ参加ください。

今までやってきた学習会の内容

- ・二つの憲法
- ・集団的自衛権
- ・戦争体験を語る会
- ・戦争遺跡巡り
- ・戦争とは何か？
- ・戦争法(安保関連法)の内容
- ・自民党の日本国憲法改正草案 (H24年4月27日決定)
- ・新旧憲法との比較 (平和主義と緊急事態)



4月 2日に房総カントリークラブにてお花見交流会をしました。桜の開花はまだ五分咲きでしたが、服部さんのハーモニカ伴奏で皆で合唱し、則子さんのオカリナ演奏アメイジング グレイスをゆったり聴いたり、和やかに会話を楽しみながらお弁当を食べて ひとときを過ごしました。

**安倍政権の突き進む「戦争への道」 私たちが止める！**



映像をみて戦争と憲法を語る会



**7月23日(土)**

**場所 大原文化センター 視聴覚室**  
**時間 10:00~12:00**

参加費(資料代) 200 円  
お知り合いの方にもぜひ ご参加を呼び掛けてください  
(上映運営にぜひ 力をお貸しください)

**学習交流会**

通常の学習交流会は **大原文化センター 美術工芸室 会議室**

- ・6月25日(土)
  - ・8月20日(土)
  - ・9月17日(土)
- 10:00~12:00  
参加費(資料代) 200円

自衛官の母、安保法「反対」貫く 迷惑かかる息子と絶縁

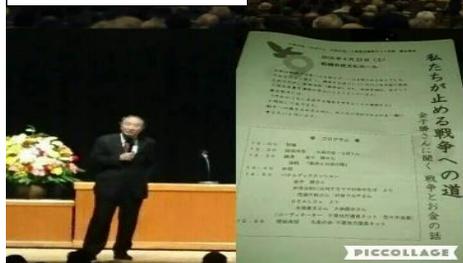
アフリカ・南スーダンでの自衛隊の国連平和維持活動(PKO)で、三月の安全保障閣連法の施行後初めて派遣部隊の交代が今月二十二日から始まる。新たな派遣部隊の主力となる陸上自衛隊北部方面隊第七師団がある北海道千歳市で暮らした二十代の自衛官の息子を持つ女性が、安保法に反対の声を上げた。息子に迷惑をかけたよう、縁を切った。息子に迷惑をかけたよう、縁を切った。息子に迷惑をかけたよう、縁を切った。

東京新聞2016年5月19日 朝刊より一部掲載

息子が部隊を辞めて無事ならいい、という話ではない。隊員一人でも、何かあったら遅い。行かせたい。海外の紛争地域に自衛隊を駆り出すことを決めた人が行けばいい。

金子勝さんのエネルギッシュなトークに会場を埋め尽くした参加者も拍手と笑いに沸きました。

私たちが止める戦争への道



**入会者 ひとこと**



**大原のMさん**  
戦争体験から二度と戦争はあってはならないという気持ちです。

**大原のKさん**  
ノーベル平和賞に向けて頑張ります。(二度と戦争を起こさせない為です)

**入会者受付中です**  
年会費500円  
みんなで憲法を学び、一緒に平和を希求する人を増やしましょう！  
現在の会員74名です



ほっとたいむ

4月23日の九条の会・ちば主催憲法集會に 会員8名が参加しました。経済学者金子勝さんの 鋭いアベ批判！「息を吐くように嘘を吐く！」アベノミクスの失敗等の事例を交えてのトーク。報道の在り方、本当の事を知る必要性を実感！新しい運動から新しい政治家が出てくる必要性等 豊富な話題満載。パネルディスカッションでは、ママの会@ちば・荒瀬さん、村田さん、子どもの未来憂う気持ち大いに共感！SEALDs・大高さん、若者を苦しめる、雇用、奨学金の問題 活動の中から見えたこと等。

SNS(ツイッター)の中でしばしばこんな会話を眼にします。「自衛隊員も危険になれば除隊する人が増えていくよね。そうすると いよいよ非正規雇用の若者がリクルートされるのでは？」「それって経済的徴兵っていうのだよね」「関心ないとは言っていられないね」「今日の選挙はとにかく戦争法に反対の野党統一候補や野党の候補者に投票しなくちゃ」

☆18歳選挙権 ☆日本の進路の分岐点！  
明日の未来を変えるは有権者の私たち！ (編集後記) 川 島